

統計検定2級（2018年11月実施）に関するコメント

今回の統計検定2級試験に関するコメントなどです。

【難易度】

前回よりやや高めでした。

【出題範囲】

「歪度・尖度」が初めて登場しました。これで、未出題の項目は、CBT以外では、「2変量正規分布」、「超幾何分布」、「負の二項分布」、「相関係数の区間推定」、となりました。とはいえ、既出の項目でも、様々な角度から問われることと思われま

【取り組み方】

以下のように、今回の問題を分けてみました。

是非とも正解したい問題：1, 2, 3, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 16, 17, 18, 20, 21, 22, 27, 28, 30, 31, 33 (20問)

できるだけ正解したい問題：4, 12, 13, 19, 24, 29, 34 (7問)

難しい問題：8, 14, 15, 23, 25, 26, 32 (7問)

34問中、7割は、24問正解になります（傾斜配点を考慮しなければ）。ケアレスミスも考慮して、できるだけ正解したい問題まで解けることができれば、安全圏と言えそうです。

弊塾以外では、2級の過去問や市販の問題集で少しひねりを加えた問題に慣れるのも、合格には必要と思われま

【問題別コメント】

問1（度数分布表・箱ひげ図・中央値・分位数など。標準的）

標準的です。

問2（相関係数など。やや難）

今までと趣向が違うので、とっつきにくいと感じられるかもしれません。

問3,4（指数, 移動平均。易）

知っていれば問題なく解けます。最近になって、経済指標の問題が毎回出題されています。

問5,6（抽出法。問5：やや難, 問6：易）

問5はやや難しいですが、恐らくこれだろう、と推測して当たることもありそうです。また、Iは、

「非復元」を見落として逆に迷わず正解される場合もありそうです。

問 6 は知識を問う問題です。

問 7 (バイズの定理。標準的)

オーソドックスな問題で、標準的です。

問 8 (正規分布, 確率変数の線形変換。やや難)

Y の従う分布がわかっても、そこから悩まれるかもしれません。少し難しいです。

問 9 (離散型確率変数, 二項分布。難)

これは、解いたことがないと辛いです。大学受験の数学で見られる問題なので、特に高校生・大学生の方々は解かれたのではないのでしょうか。

問 10 (標本平均の期待値・分散。易)

基本的な事項の確認問題でした。

問 11 (歪度, 尖度。標準的)

初登場の項目です。計算せずとも解けるようになっていますが、未学習ですと手も足も出ないかもしれません。

問 12 (母比率の区間推定。標準的)

区間推定の式を理解されていれば、数値を当てはめて解答できます。標準的です。

問 13 (母平均の検定。標準的)

基礎的な事項の確認問題です。

問 14 (母分散の比の検定など。難)

[1] は母分散の比の検定を理解していれば解けます。[2] は応用問題です。「多重比較」という項目に該当しますが、知らなくても解けるように設定されています。しかし難しいことは確かです。「ボンフェローニの補正」などで調べられるとよいと思われます。

問 15 (二項分布, P 値。難)

[1] は、②と悩むところです。しかし、ポアソン分布と二項分布どちらかと問われたら、近似でない二項分布の方が、正確です。

[2][3] は片側 P 値, 両側 P 値を求めますが、この項目自体が難しいので、難問といえます。

問 16 (χ^2 適合度検定。標準的)

理論度数がわかれば、あとは手順を問うているので、標準的です。

問 17 (重回帰分析。標準的)

[1] が引っ掛かりやすいかと思われます。[2][3] は標準的だす。

問 18 (重回帰分析, 多重共線性, 擬相関など。やや難)

[1] の I, 残差平方和を求めるところが難しいです。回帰係数検定の手順だけ知っていると, 解けないです。[2][3] は標準的だす。

皆様の合格を, 祈念いたします。